もろみ酢販促に奔走

「長寿復活」に商機

沖縄美ら酒物語　泡盛　その未来　○6

「副産物」のもろみ酢が、主役の泡盛をのみ込む勢いだったもろみ酢ブーム。しかし、2003～04年をピークに、現在のもろみ酢市場は泡盛以上に最盛期から転げ落ちた。原料を薄めるなどした県外業者の低価格商品など乱造・乱売を招き、一気に消費者離れを起こしたのだった。

もろみ酢生産の伸びは泡盛の製造量も押し上げることになったが、ブームの終息とともに歯車が狂いだすと、泡盛自体の過剰製造と安売りという悪循環にもつながった。

ブームのころは20社ほどがもろみ酢を製造していたが、現在、琉球もろみ酢事業協同組合に加入するのは13社。同組合の松田亮理事長（ヘリオス酒造社長）は「泡盛出荷が減少した分をもろみ酢で補えることができれば、経営基盤の強化になる」ともろみ酢との両輪の普及なくして今後の泡盛振興はないと強調する。

「もろみ酢も泡盛も黒麹菌の力が生んだ宝物」と語る琉球もろみ酢事業協同組合の石川悟指導部長＝10日、那覇市若狭の同組合事務所

黒麹菌の力

「泡盛も、もろみ酢も、黒麹（こうじ）の力が生んだ宝物だ」と力説するのは、琉球もろみ酢事業協同組合の指導部長を務める石川悟さん。もろみかすを飲料商品化した元祖、石川酒造場（西原町）の出身で、3年前に松田理事長に声を掛けられ協同組合の事務局に入った。

参加者にもろみ酢を振る舞うさわやかタウンウォークin北中城＝4月17日

泡盛が沖縄の暑さでも腐敗せず製造できるのは、黒麹菌が酸度の高いクエン酸やアミノ酸を生成し、雑菌の繁殖を抑えるためだ。そして、蒸留後の酒かす（もろみかす）を絞って製造したもろみ酢には、黒麹菌が生み出したクエン酸やアミノ酸がふんだんに含まれる。

松田理事長はかつて、ヘリオス酒造の製品「黒麹醪（もろみ）酢」の効能を調べるため研究機関に臨床試験を委託した。この結果、疲労回復や筋肉増強、コレステロール値改善という研究成果を得たという。石川さんは「必須アミノ酸やクエン酸サイクルは代謝を促進する。ブームになったのも、もろみ酢が体に効いたという人が多かったからだ」と語る。

援軍

石川さんには忘れがたい思い出がある。30年近く前、石川酒造場が開発したもろみ酢を量販店に並べてもらおうと、プリマート（現イオン琉球）の酒類・飲料担当バイヤーとの交渉に臨んだ。しかし、バイヤーの男性は口に含んだ途端に顔をゆがめ、洗面所に駆け込んではき出した。バイヤーから風味や装丁など次々に難点を指摘された石川さんだったが、内心では「どうせ東京で勝負するから何を言われても気にしない」と開き直りもあった。

その後、石川酒造場の東京営業所で泡盛の県外普及に駆け回った石川さんは、酒問屋国内大手の日本酒類販売に移籍。長く東京で酒類流通に携わり、沖縄ブームで泡盛の引き合いが高まるのを見てきた。特にもろみ酢は爆発的な人気と転落を目の当たりにした。

父の信夫氏（石川酒造場2代目社長）が開発し、沖縄発の全国商品となったもろみ酢。3年前に沖縄に戻った石川さんは「やはり自分は石川酒造場の人間。もろみ酢であれば、もう一度やりたい」と、もろみ酢の販売を再び軌道に乗せるために走りだした。

「琉球もろみ酢の日」に向け、浦崎唯昭副知事（右から2人目）にもろみ酢を贈呈する松田亮理事長（同5人目）ら＝2015年9月2日、県庁

そこに強力な援軍も現れた。イオン琉球（南風原町）の末吉康敏会長だ。「最初の商品はもろみの臭いが強烈で、とても飲めなかった。その後ブレークしたから当時のことはよく覚えている。業界の改善努力があったのだろう」と目を細める。若き日の石川さんが向き合ったプリマートのバイヤーその人こそ、末吉会長だった。

参加型イベントで手応え

イオン琉球は2015年4月のライカム店開業と、プリマートから数えて創業40年の節目に合わせた地域還元企画の一つとして、昨年から健康プロジェクトを始めた。末吉会長から「沖縄の宝をよろしく頼む」ともろみ酢の販促を託されたバイヤーたちは、もろみ酢組合と月1回の会合を持ち、売り場改善などプロジェクトの具体化を進めた。

昨年8月にはイオン200店舗で沖縄健康フェアを開催した。その上で末吉会長は「毎日飲み続けるには720ミリリットルで1500円以上では高い。千円を切る商品にしないと」と業界にさらなる改善を求める。

当初は物販中心だったプロジェクトは、直近では自治体や関係団体も巻き込んだ参加型イベントへと広がりを見せる。店舗でもろみ酢試飲会を開いても買い物客はなかなか手を伸ばしてくれないが、市民参加の健康増進ウオーキングの給水ブースでは様相が違った。

イオン琉球の又吉長章ヘルス&ビューティーケア商品部長は「汗をかいた参加者が、もろみ酢を手に取ってのどを鳴らしてごくごく飲む。体がアミノ酸を欲しているのが分かる」ともろみ酢の新たな提案に光明を見る。市場のV字回復に向けて「健康長寿復活という沖縄の課題を、もろみ酢を使って解決したい」と意気込んだ。

（与那嶺松一郎）

（日曜掲載）